

3.4.5 歳児 どんぐりの部屋

6月 海のパズル 綺麗な魚がいっぱい



積み木で竜宮城を作ってみよう

カメをカプラ積み木で作ろう(カメの顔って？

手や足はどうなっているのかな



海の中ってこんな雰囲気かな？



・プールを海に見立てて 魚やカメのおもちゃを浮かべたり、カメになって泳いだりしてみよう



海の中ってこんな雰囲気かな？

海の生き物を作ってみよう！ 一部を紹介します。



図鑑でタコを調べていた子が「タコには吸盤があるんだ！」と気付いて、マジックで吸盤を描き始めました。その様子を近くで見ていた3歳児！これならできると思ったのか、マジックを持ち出し一緒に描きました。良く見ると♡や★型などいろいろな吸盤があります。

リズム遊戲でなじみ深い「タコ」を作る事に！
顔は丸めた新聞紙に折り紙を貼り、足は新聞紙を細長く丸めて、赤いガムテープで巻きました。

ガムテープを新聞紙に巻き付けるのがなかなか難しくて子ども達同士で試行錯誤！「新聞紙を回せば良いんじゃない?!」と一人が言うと「いいね！やってみよう！」ガムテープを持つ子、新聞紙の足を回す子と見事に役割分担をしていました。

「タコの足は何本？」何回も皆で足を数えながら「まだ、たりないよ!」「じゃ、新聞紙を丸めて!」等々どんどん進めて行きます。



タコ、ペンギンは運動会の入退場門しました。

散歩先や園庭でも、「うらしまろう」の物語の一部をごっこ遊びとして遊び込んでいます

海をぬろう！3.4歳児

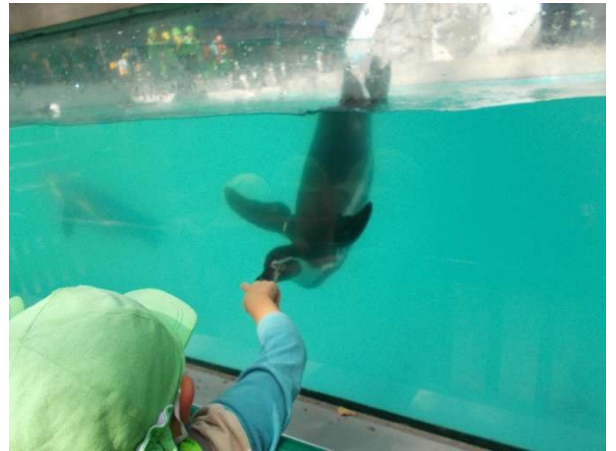


竜宮城を描いてみよう5歳児

波の音をPCで調べてみました。

波の音を箱に米を入れて製作して表現してみる。

10月 遠足 動物園



遠足で行った動物園 カメをみつけて
「浦島太郎」の物語が話題にあがる

動物園に展示されていたサンゴを作っ
てみよう

染紙をして遊んだ後「おとひめさまの着物みたい」と女兒はイメージを広げていった。
優しい言い方、きれいなしぐさってどんな風かな？着物は？



劇あそびに発展



浦島太郎の腰紐を作ろう
うらしまたろう役の女の子たち



村の子どもの着物の帯を作ろう
はりと糸を使って

【一言の言葉の重みについて丁寧に考え、みんなで意見を出し合う】

劇の中のセリフを考える際、『子ども達がカメをいじめる場面』について子ども達から、いろいろな意見がでた。村の子どもはカメをいじめていたのか？―「遊びたかっただけだよ、いじめていたわけじゃないよ」

大人は、昔話の中で『子ども達がカメをいじめる』という固定観念があったが、春から浦島太郎の絵本に触れ、散歩先や園庭でもごっこ遊びを積み重ねてきた子ども達。演じる中で、物語の中の村の子どもがどんなふうに関わり、どんな行動をとったのか。自分の事として考えられたのではと感じた。

今回の劇遊びの中の浦島たろうのセリフには、『子ども達はカメをいじめていたのではなかったのかも』という意見から、いじめていると断言せず「カメが嫌がっているように見えるよ」という言葉を子どもたちの中で考えが広がりその言葉が導かれた。

一言の言葉の重みについて丁寧に考え、みんなで意見を出し合うことができた。

